

# 新型コロナウイルスとタキシフォリン

昨年のはじめに中国の武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、春先から日本でも拡大がすすみ、私たちの生活は大きく様変わりしてしまいました。コロナ禍は、飲食やイベント、観光などで働く人々の経済的に深刻な影響をもたらしている一方で、「外出自粛」を与儀なくされることによる身体的かつ精神的な健康不安が、多くの人々、とりわけ高齢者の問題にもなっています。「高齢者は感染すると重症化しやすい」「自宅に引きこもっていると認知症の症状が進行する」ことはメディアでも何度も報じられていますが、そういうリスクの高い家族をケア(介護)している人が大変な状況であることは意外に知られていません。大阪大学や日本老年医学会と広島大学が行ったアンケート調査の中で、家族の介護負担増の実態が明らかになりました。 [www.hiroshima-u.ac.jp/news/59484](http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/59484) ◀

また、国際アルツハイマー病協会のホームページでも、認知症本人以上に介護者へのサポートが重要であることが伝えられています。介護する人自身もコロナ禍での日常的な家族へのケア(介護)で様々な悩みを抱えながら、どこに相談すればいいのかわかならという現状も報告されています。最近では、介護する人も支援やケアが必要ということが理解されるようになり、行政や非営利団体による相談窓口が少しずつですが増えています。実際に、介護者を支援する団体には、「自分自身が感染したときどうすればいいのか、誰が介護してくれるのか」と悩む自宅で親の介護をしている娘さん、また、「施設に入所している奥様に面会できなくて辛い」という高齢者の男性、「外出できず認知症の症状がすすんでこのままだとどうなるのか」と悩む息子さんなど、様々な相談が寄せられているそうです。



新型コロナウイルスに対する感染リスクに備えるために、生活スタイルや食事など、インターネットには様々な情報があふれるようになりました。「タキシフォリン」も新型コロナウイルスに対する有用性が、スイス・バーゼル大学など海外の研究機関で相次いで報告され、話題となっていることが専門メディアやインターネットニュース等で報じられました。これは、ウィルスの増殖を抑制する作用がタキシフォリンにあることに起因したのですが、「コロナウィルスは血管内皮細胞機能を障害して、全身的な疾病をきたす、ことが特異的に起こることがわかっており、血流改善に関する報告が多いタキシフォリンが血管内皮細胞を活性化するからである」と専門家の先生が話をしていました。

## 家族介護者支援団体に関する情報 (厚生労働省、家族介護者支援マニュアルより)



一般社団法人 **日本ケアラー連盟**  
<https://carersjapan.jimdofree.com/>  
介護者が感染したときの「引き継ぎ書」  
「ケアラーのバトン」(緊急引継ぎシート)を公開



NPO法人 **介護者サポートネットワークセンターアラジン**  
<http://arajin-care.net/>  
介護者を支援するため、  
介護者サロンや電話相談等を実施している



NPO法人 **パオッコ**  
<http://paokko.org/>  
遠距離介護を行う家族介護者を支援するため、情報  
提供やサロンの開催等を行っている

コロナ禍はワクチン接種がはじまり、少しずつですが明るい兆しが見えてきつつあります。適度な運動、バランスのよい食事、三密を避けながらのプチ外出、そしてタキシフォリンを摂って、ご自身やご家族の健康な生活を維持しましょう。

